

担当者	柳澤 一男
題目	古墳時代の南九州
学期	2026年度 第2クォーター (6/17-8/5)
曜日・時間	水曜日
授業形式	対面
科目の概要	
日本における国家形成過程に列島各地に築造された各種の考古資料（おもに各種の墳墓）を通して、その時代の特性を南九州（宮崎・鹿児島県域）でのありようを具体的に考える。	
学習目標	
(1) 歴史を理解する方法としての考古学の見方を理解する。 (2) 国家成立過程の日本列島の様相を理解する。 (3) 南九州に特徴的に分布する古墳と古墳群を理解する。	
授業計画	
第1回	古墳時代とは？（古墳時代の考古資料からみた社会の仕組み）
第2回	古墳の築造と古墳群の形成からみた地域社会
第3回	宮崎市・大淀川下流域の古墳群（生目古墳群と下北方古墳群）
第4回	西都市・一ツ瀬川右岸の古墳群（西都原古墳群）
第5回	新富町・一ツ瀬川左岸の新田原古墳群と高鍋町・小丸川左岸の持田古墳群
第6回	鹿児島県大隅地方の古墳と古墳群
第7回	南九州独自の古墳時代埋葬施設（板石積石棺墓・地下式横穴墓）
第8回	九州の装飾古墳と宮崎の装飾横穴墓
主な対象者	社会人、学生
テキスト	使用しません。
参考書・資料	講義に関する資料は、毎回配布します。
キーワード	考古学・古墳時代
備考	